

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【公表番号】特表2018-522876(P2018-522876A)

【公表日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2018-031

【出願番号】特願2017-568160(P2017-568160)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/155	(2006.01)
A 6 1 K	31/165	(2006.01)
A 6 1 K	31/60	(2006.01)
A 6 1 K	31/7008	(2006.01)
A 6 1 K	31/726	(2006.01)
A 6 1 K	31/737	(2006.01)
A 6 1 K	31/522	(2006.01)
A 6 1 K	31/355	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/10	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/42	(2006.01)
A 6 1 Q	19/02	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 Q	1/04	(2006.01)
A 6 1 K	8/43	(2006.01)
A 6 1 K	8/368	(2006.01)
A 6 1 K	8/37	(2006.01)
A 6 1 K	8/04	(2006.01)
A 6 1 K	8/49	(2006.01)
A 6 1 K	8/60	(2006.01)
A 6 1 K	8/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/155	
A 6 1 K	31/165	
A 6 1 K	31/60	
A 6 1 K	31/7008	
A 6 1 K	31/726	
A 6 1 K	31/737	
A 6 1 K	31/522	
A 6 1 K	31/355	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/10	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 K	8/42	
A 6 1 Q	19/02	
A 6 1 Q	17/04	
A 6 1 Q	1/04	
A 6 1 K	8/43	
A 6 1 K	8/368	
A 6 1 K	8/37	
A 6 1 K	8/04	
A 6 1 K	8/49	
A 6 1 K	8/60	
A 6 1 K	8/14	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	9/70	4 0 1
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/06	
A 6 1 K	9/107	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 K	47/24	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	47/32	
A 6 1 K	47/22	

【 手続補正書 】

【 提出日 】 令和1年6月14日 (2019.6.14)

【 手続補正 1 】

【 補正対象書類名 】 特許請求の範囲

【 補正対象項目名 】 全文

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

コロイド分散系と目的薬剤（「A O I」）とを含み、前記コロイド分散系は、界面活性剤と、任意選択的にリン脂質とを含む可変コロイド粒子とを含み、前記 A O I は前記可変コロイド粒子と結合しておらず、前記 A O I は生物活性剤であることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

前記 A O I がクロルヘキシジンまたはその塩を含み、任意選択的に、前記 A O I がクロルヘキシジンジグルコン酸塩を含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記可変コロイド粒子に連結されている亜鉛を有する化合物をさらに含み、任意選択的に、クロルヘキシジンもしくはその塩、空の可変コロイド粒子、およびステアリン酸亜鉛が連結されている可変コロイド粒子の凝集体またはミセルを含む請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記 A O I がカプサイシンを含み、
任意選択的に、前記カプサイシンが凝集体の形態の組成物中に存在するか、または前記カプサイシンが 1 つ以上のリン脂質を含むリポソームと結合しており、
任意選択的に、前記可変コロイド粒子がそれらの膜内にメントールを含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記カプサイシンが凝集体の形態の組成物中に存在し、前記可変コロイド粒子が空の可変コロイド粒子を含む請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記 A O I がサリチル酸またはその塩もしくはエステルを含み、任意選択的に、前記 A O I がサリチル酸ミリスチルまたはサリチル酸トリデシルを含み、任意選択的に、サリチル酸またはその塩もしくはエステルが、0.05 ~ 2.5 質量%の濃度で存在する請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記可変コロイド粒子に連結されているサリチル酸ミリスチルまたはサリチル酸トリデシルをさらに含み、
任意選択的に、前記可変コロイド粒子に連結されているアスコルビン酸もしくはそのエステルおよび / またはトコフェロールもしくはそのエステルを含み、
任意選択的に、前記組成物がトコフェロールを別の相中にさらに含む請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物が、
a) グルコサミンまたはその塩およびグルコサミンのアミドまたはその塩からなる群より選択される少なくとも 1 つの A O I ; および / または
b) コンドロイチンまたはその塩からなる群より選択される少なくとも 1 つの A O I
を含み、
任意選択的に、アスコルビン酸もしくはそのエステルおよび / またはトコフェロールもしくはそのエステルが、前記可変コロイド粒子に連結されている請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記 A O I がカフェインを含み、
任意選択的に、アスコルビン酸もしくはそのエステルおよび / またはトコフェロールもしくはそのエステルが、前記可変コロイド粒子に連結されており、
任意選択的に、前記組成物が、アスコルビン酸もしくはそのエステルおよび / またはトコフェロールもしくはそのエステルが連結されている可変コロイド粒子の第 1 の形態と、

トリペプチド - 1 が連結されている可変コロイド粒子の第 2 の形態とを含み、任意選択的に、前記組成物が、テトラペプチド - 7 が連結されている可変コロイド粒子の第 3 の形態をさらに含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 0】

医薬用の請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 1 1】

前記 A O I がクロルヘキシジンまたはその塩を含み、任意選択的に、疾患または障害がニキビまたは皮膚炎である患者の皮膚と関連した疾患または障害の治療または予防用の請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 1 2】

前記 A O I がカプサイシンを含む、疼痛およびかゆみからなる群より選択される 1 つ以上の状態の治療または予防用の請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 1 3】

前記 A O I がサリチル酸またはその塩もしくはエステルを含む、疼痛の治療または予防用の請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

a) グルコサミンまたはその塩およびグルコサミンのアミドまたはその塩からなる群より選択される少なくとも 1 つの A O I ; および / または

b) コンドロイチンまたはその塩からなる群より選択される少なくとも 1 つの A O I を含む、関節疾患または関節の悪い健康状態と関連した疼痛の治療または予防用の請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の組成物を、対象の皮膚に局所塗布するステップを含むことを特徴とする対象の外観を美容上改善する方法。